

# 「二次元の女性を含む広告に関する実証研究」（仮称） に係る計画書

変態学研究所

## 1. リサーチの背景

近年、地方自治体や公益性の高い企業などが作成した広告が炎上するという事件がしばしば発生している。これらの広告は、二次元の女性を含んでおり、その女性の描かれ方が過度に性的であり「女性蔑視を助長している」あるいは単純に「不快である」といった理由で批判を呼んだ。しかし、これらの広告がそもそも多くの人々にとって性的と見なされるものであるか、そしてどのような人がどのような理由からこれらの広告を批判しているのかについては実証が行われていない。

## 2. リサーチの目的

以上のことを背景に本リサーチでは、近年炎上した広告を回答者に提示し、回答者がそれらの画像を広告として掲示することをどの程度適切だと思うか、また、その認識が当該の広告を「どの程度性的だと思うか」、「どの程度蔑視を助長していると思うか」や回答者自身の態度によってどのように影響されるのかを検討することを目的とする。

## 3. 用いる手法

質問紙調査を行い、得られたデータを統計的に解析する。具体的には、適切性を従属変数、当該の広告についての認識や回答者自身の態度を独立変数とする重回帰分析を行うことを計画している。

## 4. 期待される利益

人々がどのような理由で、そしてどのような人々が当該の広告を適切だと思うのか（あるいは適切ではないと思うのか）が明らかになる。

## 5. 今後の計画

- 8月中：質問内容を確定
- 9月上旬：ツイッター上で回答を募集
- 9月中旬：分析を実施
- 9月下旬：報告書を作成